

令和4年度 徳島大学バイオイノベーション研究所・ 産業院共催セミナー アンケート結果

【開催日】 令和4年12月1日（木）9時30分～11時30分

【参加者数】 149名

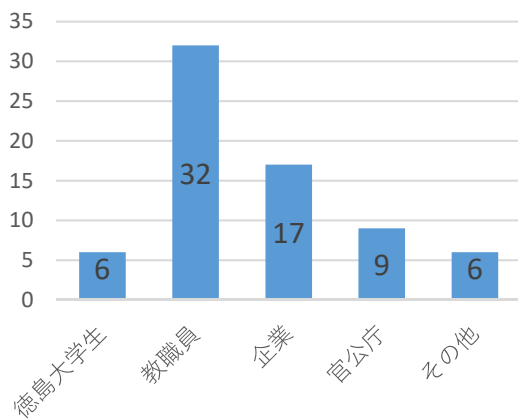
<内訳：会場 84名（教職員 47名、学生 8名、企業等 29名）
オンライン 65名（教職員 31名、学生 2名、企業等 32名）>

【アンケート実施期間】 令和4年12月1日（木）～12月12日（月）

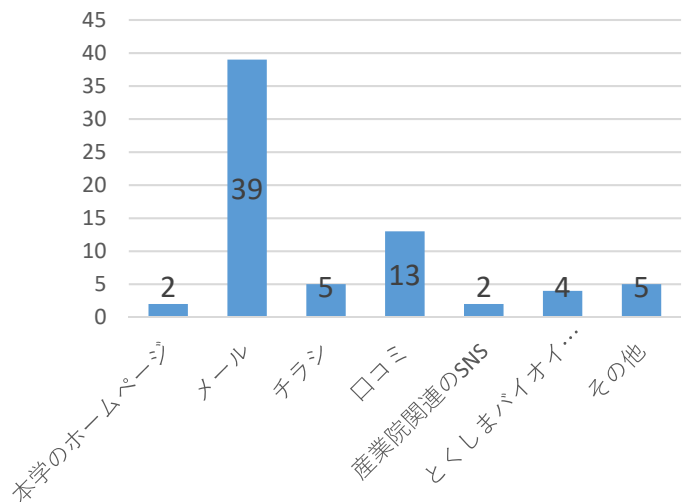
【アンケート実施方法】 会場配布＋WEB（Forms）により実施

【アンケート回答者数】 70名（回答率：47%）

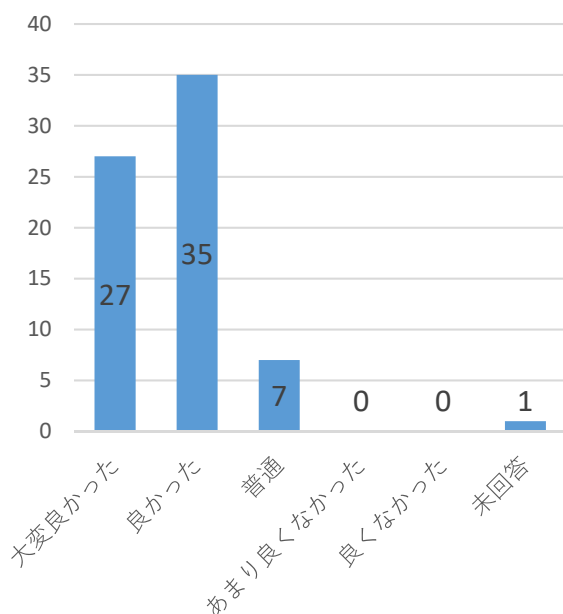
(1) アンケート回答者の所属



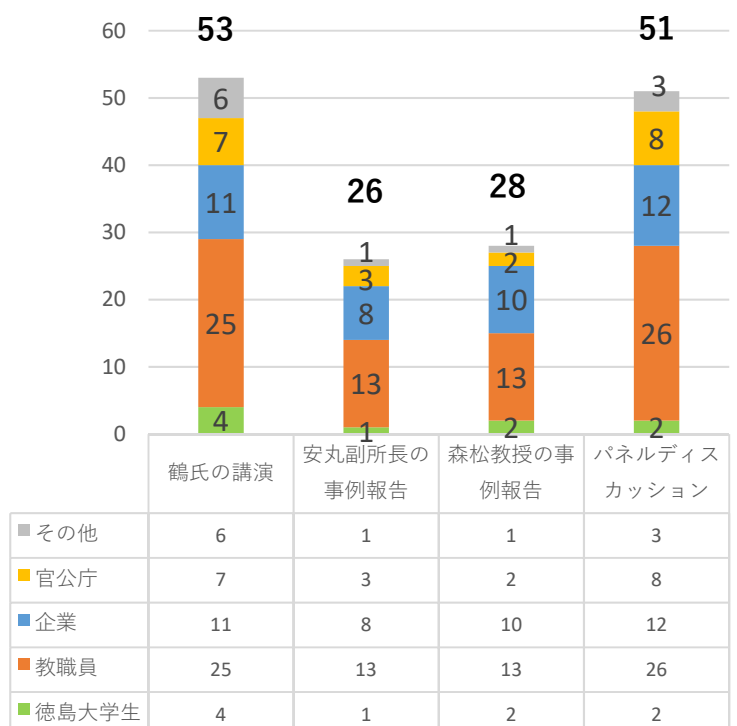
(2) 本セミナーを知ったきっかけ



(3) 本セミナーの満足度



(4) 本セミナーでよかったと思われるもの（複数選択可）



(5) (4) の設問で、選択した理由、または講演についての感想【一部抜粋】

- 企業との連携に限らず、相手の目的・役割の見定めが重要であることを再認識した。徳大BIRCのこれからの取組に大いに期待している。人と人、情熱（パッション）の重要性がひしひしと伝わってきた
- 企業・県・大学各々の立場からの取組みや連携協力の可能性が知れて勉強になった。特に企業・銀行からの声は普段聞けない視点であり、今後も具体的に投資や援助に至る視点、ポイントなども伺いたい。
- 具体的事例を紹介していただけることで、理解しやすいとともに事業の農業生産の形がイメージできるものであった。また、オープンイノベーションを築く上でのキーポイントについて理解できた。
- コミュニケーションが重要。最後は人と人との繋がりがや信頼関係の有無が成功に繋がる。ヒト、もの、カネがそろわないとイノベーションは成就しない。
- 色々行われていることは分かったがどんな成果が上がっているのでしょうか？
→別紙のとおり回答いたしますので、ご確認ください。
- イノベーションについての率直なお考えや、今後の構想など、具体的に知ることができました。ニーズを待っていても何も動かないならこちらから企業へ営業をかける。大学が橋渡し、マッチングによる産学官金の連携が大事であるということが分かりました。コミュニケーションがオープンイノベーションにつながるというのは、皆様共通のお考えのようでした。
- 事例を紹介されていて良かった。掘り下げて詳細を紹介してほしい。
- 企業としてCVCが投資する先の選定理由などを理解することができた。非常に分かりやすい講演だった。
- 地方地域との共創について概要や事例紹介等、深く知れて良い経験でした。
- 皆様がコミュニケーションが大切とおっしゃっており、同じ目的へ邁進する熱意があってこそイノベーションが生まれるということに改めて気づくことができました。今後の産官学金が連携と徳島県の発展が期待されます。
- グラフィックレコーダーによる記録が良かった。

(6) 今後、バイオイノベーション研究所、産業院のセミナーで聞きたいこと（大学の産学連携活動等）【一部抜粋】

- 地域の企業と先端技術の連携について、技術のギャップ・ニーズに基づく技術とは何かなど。地方におけるスタートアップ、ベンチャーのあり方について
- 小さな企業（スタートアップ）が大学と連携している事例
- 今回のようなディスカッションで総合的な話を聞けると参加者からも意見が出て良いと思う。具体的な農・畜・水産業のシードから事業化への例を具体的に聞きたい。
- 大学の立場ですと、こちらから企業に売り込みに行くという姿勢も必要とのことでしたので、シーズ情報などお聞き出来たらと思います。
- 学外との具体的な取り組み事例とその成果
- ヴォルテックスの利用について。ヴォルテックス施設設備について。
- 短期的課題の具体的な解決事例など、小さなネタですぐ応用できるようなこと。
- 大学も経営的に、交付金が減り、苦しいと思うが、企業等の連携において、提供資金の下限設定はあるか？
→別紙のとおり回答いたしますので、ご確認ください。
- 今後も共同研究先がどのように関係していくのかお聞きしたいと思います。
- 医薬品・医療機器にフォーカスしたセミナーを聞きたいです。

(7) その他、気付いた点やご意見【一部抜粋】

- (株)阿波銀行の活動の様に、積極的に企業・農林水産関係者に関わっていく事が、今後は重要であると思いました。
- パネルディスカッションが特に有益であった。
- グラフィックレコーダーという立ち位置の人をはじめて見たが、良いですね。特にパネルディスカッションのような場がある時は効果的な気がしています。
- パネルディスカッションでの要点が、イラストにまとめられていくのが良かったと思います。
- 関連する事が数件ありますが、もう少しフィールドに目を向けていただきたい。
- 時間は90分程度でも良いのでは。
- 農学系の学生さんの気概を聞きたい
- 本日はありがとうございました。ベンチャー企業やこれから起業を考えている学生への支援や対応する仕組みはありますか？相談できる環境がありますか？

【アンケートのご質問への回答】

- Q. 色々行われていることは分かったがどんな成果が上がっているのでしょうか？
- A. HPへSNSで研究成果等の情報発信をおこなっておりますが、十分に発信できていない部分も多くあるかと思えます。
今後、積極的に情報の発信に努めていきたいと考えておりますので、是非、本学のHPやSNSをご高覧いただけますと幸いです。

【徳島大学HP, SNS】

<https://www.tokushima-u.ac.jp/recent/>

- Q. 大学も経営的に、交付金が減り、苦しいと思うが、企業等の連携において、提供資金の下限設定があるか？
- A. 本学では、企業等と連携するため、「共同・受託研究」、「学術指導制度」、「技術相談」等様々な制度を設けております。ご希望等ございましたら徳島大学研究支援・産官学連携センターのHPをご参照いただき、下記までご連絡ください。

【徳島大学研究支援・産官学連携センター HP】

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/collaboration/>

【ご連絡先】

徳島大学 研究支援・産官学連携センター

E-mail:rac-info@tokushima-u.ac.jp